

| 改 正 後 | 改 正 前 |
|--|--|
| <p data-bbox="368 478 1270 548">施設機械工事等共通仕様書</p> <p data-bbox="700 940 937 982">令和7<u>8</u>年3月</p> <p data-bbox="368 1703 1270 1745">農林水産省農村振興局整備部設計課</p> | <p data-bbox="1709 478 2611 548">施設機械工事等共通仕様書</p> <p data-bbox="2041 940 2279 982">令和8<u>7</u>年3月</p> <p data-bbox="1709 1703 2611 1745">農林水産省農村振興局整備部設計課</p> |

○施設機械工事等共通仕様書の制定について（平成26年3月28日付け25農振第2283号農林水産省農村振興局長通知） 新旧対照表

（下線の部分は改正部分）

| 改正後 | 改正前 |
|---|--|
| <p style="text-align: center;">施設機械工事等共通仕様書</p> <p style="text-align: center;">目次</p> <p>第1章 総則</p> <p> 第1節 総則</p> <p> 1-1-1～1-1-6 [略]</p> <p> <u>1-1-7</u> <u>ウィークリースタンス</u></p> <p> 1-1-<u>8</u>～1-1-<u>58</u> [略]</p> <p>第2章～第13章 [略]</p> <p>施設機械工事完成図書等作成要領 [略]</p> <p>参考 工事請負契約、施設機械工事等共通仕様書等に基づく提出様式</p> <p>参考 施設機械工事等共通仕様書における「指示・承諾・協議・提出・報告」の一覧表</p> | <p style="text-align: center;">施設機械工事等共通仕様書</p> <p style="text-align: center;">目次</p> <p>第1章 総則</p> <p> 第1節 総則</p> <p> 1-1-1～1-1-6 [略]</p> <p> <u>[新設]</u></p> <p> 1-1-<u>7</u>～1-1-<u>57</u> [略]</p> <p>第2章～第13章 [略]</p> <p>施設機械工事完成図書等作成要領 [略]</p> <p>参考 工事請負契約、施設機械工事等共通仕様書等に基づく提出様式</p> <p>参考 施設機械工事等共通仕様書における「指示・承諾・協議・提出・報告」の一覧表</p> |

○施設機械工事等共通仕様書の制定について（平成 26 年 3 月 28 日付け 25 農振第 2283 号農林水産省農村振興局長通知） 新旧対照表

（下線の部分は改正部分）

| 改 正 後 | 改 正 前 |
|--|---|
| <p>第 1 章 総 則</p> | <p>第 1 章 総 則</p> |
| <p>第 1 節 総 則</p> <p>1-1-1～1-1-6 [略]</p> <p>1-1-7 ウィークリースタンス</p> <p>監督職員及び受注者は、「ウィークリースタンス」の実施に努める。</p> <p>ウィークリースタンスとは、労働環境を改善し、円滑な実施と品質向上に努めることを目的に、受発注者間で確認、共有した取組の総称をいう。</p> <p>1-1-8 [略]</p> <p>1-1-9 承諾済の承諾図書</p> <p>契約書第 15 条第 7 項、第 17 条第 1 項、第 18 条第 5 項、第 19 条、第 20 条、第 22 条、第 23 条及び第 44 条第 2 項の規定を除き、承諾済の承諾図書を変更しようとするときは、軽微なものを除き、発注者と協議するものとする。</p> <p>1-1-10～1-1-16 [略]</p> <p>1-1-17 施工体制台帳及び施工体系図</p> <p>1～5 [略]</p> <p>6 下請負人の社会保険等加入の有無に関する対応</p> <p>(1)～(4) [略]</p> <p>(5) 受注者は、次の各号に掲げる場合は、発注者の請求に基づき、違約罰として、当該各号に定める額を発注者の指定する期間内に支払わなければならない。</p> <p>①当該社会保険等未加入建設業者が契約書第 7 条の 2 第 2 項第 1 号に掲げる下請負人である場合において、同号イに定める特別の事情があると認められなかったとき又は同号ロに定める特別の事情があると認められたにもかかわらず、(4)の①に定める期間内に確認書類が提出されなかったとき、受注者が当該社会保険等未加入建設業者と締結した下請契約の最終の請負代金額の 10 分の 1 に相当する額</p> <p>②当該社会保険等未加入建設業者が契約書第 7 条の 2 第 2 項第 2 号に掲げる下請負人である場合において、同号イに定める特別の事情があると認められず、かつ、受注者が (4)の②に定める期間内に確認書類を提出しなかったとき、当該社会保険等未加入建設業者がその注文者と締結した下請契約の最終の請負代金額の 100 分の 5 に相当する額</p> <p>(6) [略]</p> <p>1-1-18・1-1-19 [略]</p> <p>1-1-20 工事の一時中止</p> <p>1 一般事項</p> <p>発注者は、契約書第 20 条の規定に基づき次の各号に該当する場合には、あらかじめ受注者に対して</p> | <p>第 1 節 総 則</p> <p>1-1-1～1-1-6 [略]</p> <p>[新設]</p> <p>1-1-7 [略]</p> <p>1-1-8 承諾済の承諾図書</p> <p>契約書第 15 条 7 項、第 17 条 1 項、第 18 条 5 項、第 19 条、第 20 条、第 22 条、第 23 条及び第 44 条 2 項の規定を除き、承諾済の承諾図書を変更しようとするときは、軽微なものを除き、発注者と協議するものとする。</p> <p>1-1-9～1-1-15 [略]</p> <p>1-1-16 施工体制台帳及び施工体系図</p> <p>1～5 [略]</p> <p>6 下請負人の社会保険等加入の有無に関する対応</p> <p>(1)～(4) [略]</p> <p>(5) 受注者は、次の各号に掲げる場合は、発注者の請求に基づき、違約罰として、当該各号に定める額を発注者の指定する期間内に支払わなければならない。</p> <p>①当該社会保険等未加入建設業者が契約書第 7 条の 2 第 2 項一に掲げる下請負人である場合において、同号イに定める特別の事情があると認められなかったとき又は同号ロに定める特別の事情があると認められたにもかかわらず、(4)の①に定める期間内に確認書類が提出されなかったとき、受注者が当該社会保険等未加入建設業者と締結した下請契約の最終の請負代金額の 10 分の 1 に相当する額</p> <p>②当該社会保険等未加入建設業者が契約書第 7 条の 2 第 2 項二に掲げる下請負人である場合において、同号イに定める特別の事情があると認められず、かつ、受注者が (4)の②に定める期間内に確認書類を提出しなかったとき、当該社会保険等未加入建設業者がその注文者と締結した下請契約の最終の請負代金額の 100 分の 5 に相当する額</p> <p>(6) [略]</p> <p>1-1-17・1-1-18 [略]</p> <p>1-1-19 工事の一時中止</p> <p>1 一般事項</p> <p>発注者は、契約書第 20 条の規定に基づき次の各号に該当する場合には、あらかじめ受注者に対して</p> |

| 改正後 | 改正前 |
|---|---|
| <p>通知した上で、必要とする期間、工事の全部又は一部の施工について一時中止をさせることができる。</p> <p>なお暴風、豪雨、洪水、高潮、地震、津波、地すべり、落盤、火災、騒乱、暴動その他自然的又は人為的な事象による工事の中断については、第1章1-1-<u>55</u>により、受注者は、適切に対応しなければならない。</p> <p>(1)～(3) [略]</p> <p>2・3 [略]</p> <p>1-1-<u>21</u>～1-1-<u>30</u> [略]</p> <p>1-1-<u>31</u> 工事完成検査</p> <p>1～3 [略]</p> <p>4 検査内容</p> <p>検査職員は、監督職員及び受注者の立会又は遠隔確認により、工事目的物を対象として契約図書と対比し、次の各号に掲げる検査を行うものとする。</p> <p>(1)・(2) [略]</p> <p><u>[削る。]</u></p> <p>5・6 [略]</p> <p>7 適用規定</p> <p>受注者は、当該工事完成検査については、第1章1-1-<u>26</u>第3項の規定を準用する。</p> <p>1-1-<u>32</u> 既済部分検査等</p> <p>1・2 [略]</p> <p>3 検査内容</p> <p>検査職員は、監督職員及び受注者の立会又は遠隔確認により、工事目的物を対象として工事出来高報告書及び工事出来形内訳書と対比し、次の各号に掲げる検査を行うものとする。</p> <p>(1)・(2) [略]</p> <p><u>[削る。]</u></p> <p>4 修補</p> <p>受注者は、検査職員の指示による修補については、第1章1-1-<u>31</u>第5項の規定を準用する。</p> <p>5 適用規定</p> <p>受注者は、当該既済部分検査については、第1章1-1-<u>26</u>第3項の規定に従うものとする。</p> <p>6・7 [略]</p> <p>1-1-<u>33</u> 技術検査</p> <p>1～6 [略]</p> <p>7 適用規定</p> <p>受注者は、当該技術検査については、第1章1-1-<u>26</u>第3項を準用する。</p> <p>1-1-<u>34</u> [略]</p> <p>1-1-<u>35</u> 施工管理</p> <p>1・2 [略]</p> <p>3 標示板の設置</p> <p>受注者は、施工に先立ち工事現場又はその周辺の一般通行人等が見やすい場所に、工事目的、工事期間、工事種別、発注者名、施工者名及び連絡先を記載した標示板を設置し、工事完成後は速やかに標示板を撤去</p> | <p>通知した上で、必要とする期間、工事の全部又は一部の施工について一時中止をさせることができる。</p> <p>なお暴風、豪雨、洪水、高潮、地震、津波、地すべり、落盤、火災、騒乱、暴動その他自然的又は人為的な事象による工事の中断については、第1章1-1-<u>54</u>により、受注者は、適切に対応しなければならない。</p> <p>(1)～(3) [略]</p> <p>2・3 [略]</p> <p>1-1-<u>20</u>～1-1-<u>29</u> [略]</p> <p>1-1-<u>30</u> 工事完成検査</p> <p>1～3 [略]</p> <p>4 検査内容</p> <p>検査職員は、監督職員及び受注者の立会又は遠隔確認により、工事目的物を対象として契約図書と対比し、次の各号に掲げる検査を行うものとする。</p> <p>(1)・(2) [略]</p> <p><u>(3) 週休二日の履行状況</u></p> <p>5・6 [略]</p> <p>7 適用規定</p> <p>受注者は、当該工事完成検査については、第1章1-1-<u>25</u>第3項の規定を準用する。</p> <p>1-1-<u>31</u> 既済部分検査等</p> <p>1・2 [略]</p> <p>3 検査内容</p> <p>検査職員は、監督職員及び受注者の立会又は遠隔確認により、工事目的物を対象として工事出来高報告書及び工事出来形内訳書と対比し、次の各号に掲げる検査を行うものとする。</p> <p>(1)・(2) [略]</p> <p><u>(3) 週休二日の履行状況</u></p> <p>4 修補</p> <p>受注者は、検査職員の指示による修補については、第1章1-1-<u>30</u>第5項の規定を準用する。</p> <p>5 適用規定</p> <p>受注者は、当該既済部分検査については、第1章1-1-<u>25</u>第3項の規定に従うものとする。</p> <p>6・7 [略]</p> <p>1-1-<u>32</u> 技術検査</p> <p>1～6 [略]</p> <p>7 適用規定</p> <p>受注者は、当該技術検査については、第1章1-1-<u>25</u>第3項を準用する。</p> <p>1-1-<u>33</u> [略]</p> <p>1-1-<u>34</u> 施工管理</p> <p>1・2 [略]</p> <p>3 標示板の設置</p> <p>受注者は、施工に先立ち工事現場又はその周辺の一般通行人等が見やすい場所に、工事目的、工事期間、工事種別、発注者名、施工者名及び連絡先を記載した標示板を設置し、工事完成後は速やかに標示板を撤去</p> |

| 改正後 | 改正前 |
|---|--|
| <p>しなければならない。ただし、標示板の設置が困難な場合は、監督職員の承諾を得て省略することができる。</p> <p>なお、標示板については、本章1-1-43 環境対策10に示す合法伐採木材等を使用すること。ただし、監督職員がやむを得ない理由があると認めた場合は、この限りではない。</p> <p>4～11 [略]</p> <p>12 工事情報共有化</p> <p>受注者は、監督職員と受注者の間の情報を電子的に交換・共有することにより、業務の効率化を図らなければならない。</p> <p>また、情報を交換・共有するにあたっては、工事情報共有システムを活用することとし、工事及び業務における受発注者間の情報共有システムの活用について（令和3年9月7日付け3農振第1453号 <u>農林水産省農村振興局整備部設計課長通知</u>）の別紙（URL「https://www.maff.go.jp/j/nousin/seko/ASP/」）に基づくこととする。</p> <p>13 [略]</p> <p>1-1-36 [略]</p> <p>1-1-37 週休二日の対応</p> <p>受注者は、週休二日に取り組み、その実施内容を監督職員に報告しなければならない。</p> <p>なお、週休二日は、<u>土日を休日とする週休二日工事の実施に取り組むなど、週休二日の取得を推進し、地域の実情や施工条件等を踏まえつつ、その取組の質の向上に努めなければならない</u></p> <p>1-1-38 [略]</p> <p>1-1-39 工事中の安全確保</p> <p>1 安全指針等の遵守</p> <p>受注者は、最新の土木工事等施工技術安全指針（<u>平成21年3月30日付け20農振第2236号農林水産省農村振興局整備部長通知</u>）を参考にして、常に工事の安全に留意し現場管理を行い、災害の防止を図らなければならない。ただし、これらの指針は当該工事の契約条項を超えて受注者を拘束するものではない。</p> <p>2～21 [略]</p> <p>1-1-40～1-1-48 [略]</p> <p>1-1-49 施工時期及び施工時間の変更</p> <p>1 [略]</p> <p>2 休日又は夜間作業の連絡</p> <p>受注者は、設計図書に施工時間が定められていない場合で、官公庁の休日又は夜間に作業を行う <u>にあたっては、事前に作業日、作業時間、作業場所、作業理由、作業内容を監督職員に連絡しなければならない。</u></p> <p><u>なお、供用中の道路における工事については事前に理由を付した休日等作業届を作成し、監督職員に提出しなければならない。</u></p> <p>1-1-50～1-1-58 [略]</p> | <p>しなければならない。ただし、標示板の設置が困難な場合は、監督職員の承諾を得て省略することができる。</p> <p>なお、標示板については、本章1-1-42 環境対策10に示す合法伐採木材等を使用すること。ただし、監督職員がやむを得ない理由があると認めた場合は、この限りではない。</p> <p>4～11 [略]</p> <p>12 工事情報共有化</p> <p>受注者は、監督職員と受注者の間の情報を電子的に交換・共有することにより、業務の効率化を図らなければならない。</p> <p>また、情報を交換・共有するにあたっては、工事情報共有システムを活用することとし、工事及び業務における受発注者間の情報共有システムの活用について（令和3年9月7日付け3農振第1453号）の別紙（URL「https://www.maff.go.jp/j/nousin/seko/ASP/attach/pdf/index-3.pdf」）に基づくこととする。</p> <p>13 [略]</p> <p>1-1-35 [略]</p> <p>1-1-36 週休二日の対応</p> <p>受注者は、週休二日に取り組み、その実施内容を監督職員に報告しなければならない。</p> <p>なお、週休二日は、<u>土日を休日とする4週8休以上の現場閉所または、技術者及び技能労働者が交替しながら月単位で4週8休以上の休日を確保するものであり、その実施に努めなければならない</u></p> <p>1-1-37 [略]</p> <p>1-1-38 工事中の安全確保</p> <p>1 安全指針等の遵守</p> <p>受注者は、最新の土木工事等施工技術安全指針（<u>20農振第2236号平成21年3月30日付け農林水産省農村振興局整備部長名</u>）を参考にして、常に工事の安全に留意し現場管理を行い、災害の防止を図らなければならない。ただし、これらの指針は当該工事の契約条項を超えて受注者を拘束するものではない。</p> <p>2～21 [略]</p> <p>1-1-39～1-1-47 [略]</p> <p>1-1-48 施工時期及び施工時間の変更</p> <p>1 [略]</p> <p>2 休日又は夜間作業の連絡</p> <p>受注者は、設計図書に施工時間が定められていない場合で、官公庁の休日又は夜間に作業を行う <u>場合は、事前にその理由を監督職員に連絡しなければならない。</u></p> <p><u>ただし、現道上の工事については書面により提出しなければならない。</u></p> <p>1-1-49～1-1-57 [略]</p> |

○施設機械工事等共通仕様書の制定について（平成26年3月28日付け25農振第2283号農林水産省農村振興局長通知） 新旧対照表

(下線の部分は改正部分)

u003c/div>

| 改 正 後 | 改 正 前 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|--|----------------------|----------------------|----|---|----------|----|---|-----------|----|--|-------|----|---------------------------------------|-------|--|--------|---------|----------------------|----|---|----------|----|---|-----------|----|--|-------|----|---------------------------------------|-------|
| <p>第3章 共通施工</p> <p>第1節～第4節 [略]</p> <p>第5節 塗 装</p> <p>3-5-1 [略]</p> <p>3-5-2 素地調整</p> <p>1 一般事項</p> <p>受注者は、被塗装物表面の素地調整を行った後、塗装を行わなければならない。なお、素地調整は設計図書に示す素地調整種別に応じて、次の表の仕様を適用しなければならない。</p> <p style="text-align: center;">表3-5-2</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>素地調整種別</th> <th>素地調整の内容</th> <th>施工後の金属面 (ISO 8501-1)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1種</td> <td>ブラストによる処理を行い、塗膜、さび、その他付着物を除去し、<u>清浄</u>な金属面とする。</td> <td>Sa21/2相当</td> </tr> <tr> <td>2種</td> <td>ブラスト又はパワーツールによる処理を行い、塗膜、さび、その他付着物等をすべて除去する。</td> <td>Sa2、St3相当</td> </tr> <tr> <td>3種</td> <td>パワーツールによる処理を行い、活膜部以外の塗膜不良部（ふくれ、はがれ、われ等）、さび、その他付着物をすべて除去する。</td> <td>St3相当</td> </tr> <tr> <td>4種</td> <td>パワーツール等による処理を行い、塗膜表面の劣化物、その他付着物を除去する。</td> <td>St2相当</td> </tr> </tbody> </table> <p>3-5-3～3-5-5 [略]</p> <p>第6節～第13節 [略]</p> | 素地調整種別 | 素地調整の内容 | 施工後の金属面 (ISO 8501-1) | 1種 | ブラストによる処理を行い、塗膜、さび、その他付着物を除去し、 <u>清浄</u> な金属面とする。 | Sa21/2相当 | 2種 | ブラスト又はパワーツールによる処理を行い、塗膜、さび、その他付着物等をすべて除去する。 | Sa2、St3相当 | 3種 | パワーツールによる処理を行い、活膜部以外の塗膜不良部（ふくれ、はがれ、われ等）、さび、その他付着物をすべて除去する。 | St3相当 | 4種 | パワーツール等による処理を行い、塗膜表面の劣化物、その他付着物を除去する。 | St2相当 | <p>第3章 共通施工</p> <p>第1節～第4節 [略]</p> <p>第5節 塗 装</p> <p>3-5-1 [略]</p> <p>3-5-2 素地調整</p> <p>1 一般事項</p> <p>受注者は、被塗装物表面の素地調整を行った後、塗装を行わなければならない。なお、素地調整は設計図書に示す素地調整種別に応じて、次の表の仕様を適用しなければならない</p> <p style="text-align: center;">表3-5-2</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>素地調整種別</th> <th>素地調整の内容</th> <th>施工後の金属面 (ISO 8501-1)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1種</td> <td>ブラストによる処理を行い、塗膜、さび、その他付着物を除去し、<u>正常</u>な金属面とする。</td> <td>Sa21/2相当</td> </tr> <tr> <td>2種</td> <td>ブラスト又はパワーツールによる処理を行い、塗膜、さび、その他付着物等をすべて除去する。</td> <td>Sa2、St3相当</td> </tr> <tr> <td>3種</td> <td>パワーツールによる処理を行い、活膜部以外の塗膜不良部（ふくれ、はがれ、われ等）、さび、その他付着物をすべて除去する。</td> <td>St3相当</td> </tr> <tr> <td>4種</td> <td>パワーツール等による処理を行い、塗膜表面の劣化物、その他付着物を除去する。</td> <td>St2相当</td> </tr> </tbody> </table> <p>3-5-3～3-5-5 [略]</p> <p>第6節～第13節 [略]</p> | 素地調整種別 | 素地調整の内容 | 施工後の金属面 (ISO 8501-1) | 1種 | ブラストによる処理を行い、塗膜、さび、その他付着物を除去し、 <u>正常</u> な金属面とする。 | Sa21/2相当 | 2種 | ブラスト又はパワーツールによる処理を行い、塗膜、さび、その他付着物等をすべて除去する。 | Sa2、St3相当 | 3種 | パワーツールによる処理を行い、活膜部以外の塗膜不良部（ふくれ、はがれ、われ等）、さび、その他付着物をすべて除去する。 | St3相当 | 4種 | パワーツール等による処理を行い、塗膜表面の劣化物、その他付着物を除去する。 | St2相当 |
| 素地調整種別 | 素地調整の内容 | 施工後の金属面 (ISO 8501-1) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1種 | ブラストによる処理を行い、塗膜、さび、その他付着物を除去し、 <u>清浄</u> な金属面とする。 | Sa21/2相当 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2種 | ブラスト又はパワーツールによる処理を行い、塗膜、さび、その他付着物等をすべて除去する。 | Sa2、St3相当 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 3種 | パワーツールによる処理を行い、活膜部以外の塗膜不良部（ふくれ、はがれ、われ等）、さび、その他付着物をすべて除去する。 | St3相当 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 4種 | パワーツール等による処理を行い、塗膜表面の劣化物、その他付着物を除去する。 | St2相当 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 素地調整種別 | 素地調整の内容 | 施工後の金属面 (ISO 8501-1) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1種 | ブラストによる処理を行い、塗膜、さび、その他付着物を除去し、 <u>正常</u> な金属面とする。 | Sa21/2相当 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2種 | ブラスト又はパワーツールによる処理を行い、塗膜、さび、その他付着物等をすべて除去する。 | Sa2、St3相当 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 3種 | パワーツールによる処理を行い、活膜部以外の塗膜不良部（ふくれ、はがれ、われ等）、さび、その他付着物をすべて除去する。 | St3相当 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 4種 | パワーツール等による処理を行い、塗膜表面の劣化物、その他付着物を除去する。 | St2相当 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

| 改 正 後 | 改 正 前 | | | | | | | | | | | | |
|---|---|----------------------|-----|---|-----|---|--|-----|----------------------|-----|---|-----|-------------------------------|
| <p>第4章 水門設備</p> <p>第1節 通 則</p> <p>4-1-1～4-1-4 [略]</p> <p>4-1-5 銘板</p> <p>1 [略]</p> <p>2 銘板</p> <p>銘板は、JIS Z 8304(銘板の設計基準)に準ずるものとし、仕様は下表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表4-1-1 銘板仕様</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>仕 様</td> <td>エッチング(凸式)銘板又は機械彫刻式銘板</td> </tr> <tr> <td>寸 法</td> <td>200×315(mm)、250×400(mm)、315×500(mm)、400×630(mm)</td> </tr> <tr> <td>材 質</td> <td>青銅鋳物、ステンレス鋼板、<u>アルミニウム板^{注)}</u>のいずれか</td> </tr> </table> <p><u>注)アルミニウム板は表面に透明の高耐候性フィルムにより被覆した鋼板(JIS H 4000 A 5052P)を標準とする。</u></p> <p>4-1-6・4-1-7 [略]</p> <p>第2節～第6節 [略]</p> <p>第7節 操作制御設備及び電源設備</p> <p>4-7-1～4-7-3 [略]</p> <p>4-7-4 機側操作盤</p> <p>1～4 [略]</p> <p>5 雷対策</p> <p><u>受注者は、機側操作盤等に適切な雷対策を施さなければならない。</u></p> <p>4-7-5～4-7-7 [略]</p> | 仕 様 | エッチング(凸式)銘板又は機械彫刻式銘板 | 寸 法 | 200×315(mm)、250×400(mm)、315×500(mm)、400×630(mm) | 材 質 | 青銅鋳物、ステンレス鋼板、 <u>アルミニウム板^{注)}</u> のいずれか | <p>第4章 水門設備</p> <p>第1節 通 則</p> <p>4-1-1～4-1-4 [略]</p> <p>4-1-5 銘板</p> <p>1 [略]</p> <p>2 銘板</p> <p>銘板は、JIS Z 8304(銘板の設計基準)に準ずるものとし、仕様は下表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表4-1-1 銘板仕様</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>仕 様</td> <td>エッチング(凸式)銘板又は機械彫刻式銘板</td> </tr> <tr> <td>寸 法</td> <td>200×315(mm)、250×400(mm)、315×500(mm)、400×630(mm)</td> </tr> <tr> <td>材 質</td> <td><u>黄銅板</u>、青銅鋳物、ステンレス鋼板のいずれか</td> </tr> </table> <p><u>[新設]</u></p> <p>4-1-6・4-1-7 [略]</p> <p>第2節～第6節 [略]</p> <p>第7節 操作制御設備及び電源設備</p> <p>4-7-1～4-7-3 [略]</p> <p>4-7-4 機側操作盤</p> <p>1～4 [略]</p> <p>5 雷対策</p> <p>機側操作盤等には、<u>避雷器、耐雷トランス等を設置し</u>、雷対策を施さなければならない。</p> <p>4-7-5～4-7-7 [略]</p> | 仕 様 | エッチング(凸式)銘板又は機械彫刻式銘板 | 寸 法 | 200×315(mm)、250×400(mm)、315×500(mm)、400×630(mm) | 材 質 | <u>黄銅板</u> 、青銅鋳物、ステンレス鋼板のいずれか |
| 仕 様 | エッチング(凸式)銘板又は機械彫刻式銘板 | | | | | | | | | | | | |
| 寸 法 | 200×315(mm)、250×400(mm)、315×500(mm)、400×630(mm) | | | | | | | | | | | | |
| 材 質 | 青銅鋳物、ステンレス鋼板、 <u>アルミニウム板^{注)}</u> のいずれか | | | | | | | | | | | | |
| 仕 様 | エッチング(凸式)銘板又は機械彫刻式銘板 | | | | | | | | | | | | |
| 寸 法 | 200×315(mm)、250×400(mm)、315×500(mm)、400×630(mm) | | | | | | | | | | | | |
| 材 質 | <u>黄銅板</u> 、青銅鋳物、ステンレス鋼板のいずれか | | | | | | | | | | | | |

| 改正後 | 改正前 |
|--|---|
| <p style="text-align: center;">第5章 ゴム引布製起伏堰設備</p> <p>第1節 [略]</p> <p>第2節 袋体等</p> <p>5-2-1 [略]</p> <p>5-2-2 固定部</p> <p>1 取付固定の構造及び取付角度</p> <p>袋体の袋体積載床版、側壁及び堰柱等への取付固定は、膨張媒体が漏えい<u>かつ</u>、上流水が越流以外の形態で下流に流出しない構造とする。</p> <p>また、袋体の側壁部への取付角度は、側壁部付近の袋体に応力集中等が発生しない適切な角度とする。</p> <p>2 [略]</p> <p>5-2-3 [略]</p> <p>第3節 [略]</p> | <p style="text-align: center;">第5章 ゴム引布製起伏堰設備</p> <p>第1節 [略]</p> <p>第2節 袋体等</p> <p>5-2-1 [略]</p> <p>5-2-2 固定部</p> <p>1 取付固定の構造及び取付角度</p> <p>袋体の袋体積載床版、側壁及び堰柱等への取付固定は、膨張媒体が漏えい<u>したり</u>、上流水が越流以外の形態で下流に流出しない構造とする。</p> <p>また、袋体の側壁部への取付角度は、側壁部付近の袋体に応力集中等が発生しない適切な角度とする。</p> <p>2 [略]</p> <p>5-2-3 [略]</p> <p>第3節 [略]</p> |

○施設機械工事等共通仕様書の制定について（平成 26 年 3 月 28 日付け 25 農振第 2283 号農林水産省農村振興局長通知） 新旧対照表

（下線の部分は改正部分）

| 改 正 後 | 改 正 前 | | | | | | | | | | | | | | |
|--|--|----------------------|----|------------------------------------|-------------------------------------|----|------------------------------------|---|----|----------------------|----|---|--|----|---------------------|
| <p>第 6 章 用排水ポンプ設備</p> <p>第 1 節 通 則</p> <p>6-1-1～6-1-3 [略]</p> <p>6-1-4 銘 板</p> <p>1 [略]</p> <p>2 銘板の仕様</p> <p>銘板は、JIS Z 8304(銘板の設計基準)に準ずるものとし、仕様は表 6-1-1 を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表 6-1-1</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>仕様</td> <td>エッチング(凸式)銘板又は機械彫刻式銘板</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">寸法</td> <td><u>口径1,000mm未満の場合</u> 80mm×125mm以上</td> </tr> <tr> <td><u>口径1,000mm以上の場合</u> 125mm×200mm以上</td> </tr> <tr> <td>材質</td> <td><u>青銅铸件、ステンレス鋼板、アルミニウム板注)のいずれか</u></td> </tr> </table> <p><u>注)アルミニウム板は表面に透明の高耐候性フィルムにより被覆した鋼板（JIS H 4000 A 5052P）を標準とする。</u></p> <p>6-1-5 運転操作説明板</p> <p><u>[削る。]</u></p> <p>ポンプ設備の操作室には、操作の手順等を記入した運転操作説明板を見やすい位置に設置するものとし、仕様は表 6-1-2 を標準とする。</p> <p>[略]</p> <p>6-1-6 付属工具</p> <p><u>[削る。]</u></p> <p>受注者は、主ポンプ設備等の保守管理に必要な付属工具を納品するものとする。</p> <p>なお、付属工具の種類、数量及び格納方法は設計図書によるものとし、付属工具数量表を工具納品時に添付するものとする。</p> <p>第 2 節 [略]</p> <p>第 3 節 吸吐出管</p> <p>6-3-1 一般事項</p> | 仕様 | エッチング(凸式)銘板又は機械彫刻式銘板 | 寸法 | <u>口径1,000mm未満の場合</u> 80mm×125mm以上 | <u>口径1,000mm以上の場合</u> 125mm×200mm以上 | 材質 | <u>青銅铸件、ステンレス鋼板、アルミニウム板注)のいずれか</u> | <p>第 6 章 用排水ポンプ設備</p> <p>第 1 節 通 則</p> <p>6-1-1～6-1-3 [略]</p> <p>6-1-4 銘 板</p> <p>1 [略]</p> <p>2 銘板の仕様</p> <p>銘板は、JIS Z 8304(銘板の設計基準)に準ずるものとし、仕様は表 6-1-1 を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表 6-1-1</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>仕様</td> <td>エッチング(凸式)銘板又は機械彫刻式銘板</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">寸法</td> <td><u>ポンプ吐出し量口径1,000mm未満の場合</u> 80mm×125mm以上</td> </tr> <tr> <td><u>ポンプ吐出し量口径1,000mm以上の場合</u> 125mm×200mm以上</td> </tr> <tr> <td>材質</td> <td><u>黄銅板又はステンレス鋼板</u></td> </tr> </table> <p><u>[新設]</u></p> <p>6-1-5 運転操作説明板</p> <p><u>1 一般事項</u></p> <p>ポンプ設備の操作室には、操作の手順等を記入した運転操作説明板を見やすい位置に設置するものとし、仕様は表 6-1-2 を標準とする。</p> <p>[略]</p> <p>6-1-6 付属工具</p> <p><u>1 一般事項</u></p> <p>受注者は、主ポンプ設備等の保守管理に必要な付属工具を納品するものとする。</p> <p>なお、付属工具の種類、数量及び格納方法は設計図書によるものとし、付属工具数量表を工具納品時に添付するものとする。</p> <p>第 2 節 [略]</p> <p>第 3 節 吸吐出管</p> <p>6-3-1 一般事項</p> | 仕様 | エッチング(凸式)銘板又は機械彫刻式銘板 | 寸法 | <u>ポンプ吐出し量口径1,000mm未満の場合</u> 80mm×125mm以上 | <u>ポンプ吐出し量口径1,000mm以上の場合</u> 125mm×200mm以上 | 材質 | <u>黄銅板又はステンレス鋼板</u> |
| 仕様 | エッチング(凸式)銘板又は機械彫刻式銘板 | | | | | | | | | | | | | | |
| 寸法 | <u>口径1,000mm未満の場合</u> 80mm×125mm以上 | | | | | | | | | | | | | | |
| | <u>口径1,000mm以上の場合</u> 125mm×200mm以上 | | | | | | | | | | | | | | |
| 材質 | <u>青銅铸件、ステンレス鋼板、アルミニウム板注)のいずれか</u> | | | | | | | | | | | | | | |
| 仕様 | エッチング(凸式)銘板又は機械彫刻式銘板 | | | | | | | | | | | | | | |
| 寸法 | <u>ポンプ吐出し量口径1,000mm未満の場合</u> 80mm×125mm以上 | | | | | | | | | | | | | | |
| | <u>ポンプ吐出し量口径1,000mm以上の場合</u> 125mm×200mm以上 | | | | | | | | | | | | | | |
| 材質 | <u>黄銅板又はステンレス鋼板</u> | | | | | | | | | | | | | | |

| 改正後 | 改正前 |
|--|---|
| <p><u>[削る。]</u> <u>1～5</u> [略] <u>(1)・(2)</u> [略] 6-3-2～6-3-4 [略]</p> <p>第4節 主配管用弁類</p> <p>6-4-1 [略] 6-4-2 逆止め弁</p> <p><u>[削る。]</u> 逆止め弁は、急閉、緩閉、普通スイング式及びリフト式弁で、逆止め弁の選定は、設計図書によるものとする。 6-4-3～6-4-7 [略]</p> <p>第5節～第7節 [略]</p> <p>第8節 系統機器設備</p> <p>6-8-1 [略] 6-8-2 満水(呼水)系統設備 1・2 [略] 3 補水槽 補水槽の仕様は、設計図書による。 6-8-3 給水系統設備 1 共通事項 給水系統設備は、各機器へ必要な水を供給するもので、冷却水系統、潤滑水系統、封水系統で構成されるものとする。 2～5 [略] 6-8-4 燃料系統設備 1 一般事項 燃料系統設備は、燃料移送ポンプ、燃料貯油槽、燃料小出槽等で構成するものとする。 <u>(1)・(2)</u> [略] 2～6 [略] 6-8-5 [略] 6-8-6 給油(潤滑油)系統設備 1・2 [略] 3 潤滑油濾過器及び潤滑油冷却器</p> | <p><u>1 吸吐出管</u> <u>(1)～(5)</u> [略] <u>①・②</u> [略] 6-3-2～6-3-4 [略]</p> <p>第4節 主配管用弁類</p> <p>6-4-1 [略] 6-4-2 逆止め弁</p> <p><u>1 逆止め弁</u> 逆止め弁は、急閉、緩閉、普通スイング式及びリフト式弁で、逆止め弁の選定は、設計図書によるものとする。 6-4-3～6-4-7 [略]</p> <p>第5節～第7節 [略]</p> <p>第8節 系統機器設備</p> <p>6-8-1 [略] 6-8-2 満水(呼水)系統設備 1・2 [略] 3 補水槽 <u>(1)</u> 補水槽の仕様は、設計図書による。 6-8-3 給水系統設備 1 共通事項 <u>(1)</u> 給水系統設備は、各機器へ必要な水を供給するもので、冷却水系統、潤滑水系統、封水系統で構成されるものとする。 2～5 [略] 6-8-4 燃料系統設備 1 一般事項 <u>(1)</u> 燃料系統設備は、燃料移送ポンプ、燃料貯油槽、燃料小出槽等で構成するものとする。 <u>①・②</u> [略] 2～6 [略] 6-8-5 [略] 6-8-6 給油(潤滑油)系統設備 1・2 [略] 3 潤滑油濾過器及び潤滑油冷却器</p> |

| 改正後 | 改正前 |
|---|---|
| <p>潤滑油濾過器及び潤滑油冷却器の仕様は、設計図書による。</p> <p>6-8-7 [略]</p> <p>第9節 監視操作制御設備及び電源設備</p> <p>6-9-1 [略]</p> <p>6-9-2 監視操作制御方式</p> <p>1・2 [略]</p> <p>3 監視操作制御機器</p> <p>(1) [略]</p> <p>(2) 周囲の環境条件は、<u>JIS C 62271-200</u>、JEM 1265 等によるものとし、これ以外の場合は設計図書で明示するものとする。</p> <p>(3)～(5) [略]</p> <p>4 [略]</p> <p>6-9-3～6-9-5 [略]</p> <p>第10節 角落し</p> <p>6-10-1 [略]</p> <p>6-10-2 構造計算</p> <p><u>[削る。]</u></p> <p>構造計算は設計図書による。</p> <p>6-10-3 吊込装置</p> <p><u>[削る。]</u></p> <p><u>1・2</u> [略]</p> <p>第11節・第12節 [略]</p> | <p><u>(1)</u> 潤滑油濾過器及び潤滑油冷却器の仕様は、設計図書による。</p> <p>6-8-7 [略]</p> <p>第9節 監視操作制御設備及び電源設備</p> <p>6-9-1 [略]</p> <p>6-9-2 監視操作制御方式</p> <p>1・2 [略]</p> <p>3 監視操作制御機器</p> <p>(1) [略]</p> <p>(2) 周囲の環境条件は、<u>JEM 1425</u>、JEM 1265 等によるものとし、これ以外の場合は設計図書で明示するものとする。</p> <p>(3)～(5) [略]</p> <p>4 [略]</p> <p>6-9-3～6-9-5 [略]</p> <p>第10節 角落し</p> <p>6-10-1 [略]</p> <p>6-10-2 構造計算</p> <p><u>1 構造計算</u></p> <p>構造計算は設計図書による。</p> <p>6-10-3 吊込装置</p> <p><u>1 吊込装置</u></p> <p><u>(1)・(2)</u> [略]</p> <p>第11節・第12節 [略]</p> |

| 改 正 後 | 改 正 前 | | | | | | | | | | | | |
|---|---|----------------------|-----|---|-----|------------------------------------|--|-----|----------------------|-----|---|-----|-------------------------------|
| <p>第8章 ダム管理設備</p> <p>第1節 通 則</p> <p>8-1-1～8-1-4 [略]</p> <p>8-1-5 銘 板</p> <p>1 [略]</p> <p>2 銘 板</p> <p>銘板は、JIS Z 8304(銘板の設計基準)に準ずるものとし、仕様は下表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表8-1-1 銘板の標準規格</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>仕 様</td> <td>エッチング(凸式)銘板又は機械彫刻式銘板</td> </tr> <tr> <td>寸 法</td> <td>200×315(mm)、250×400(mm)、315×500(mm)、400×630(mm)</td> </tr> <tr> <td>材 質</td> <td>青銅鋳物、ステンレス鋼板、<u>アルミニウム板</u>のいずれか</td> </tr> </table> <p><u>なお、アルミニウム板は、表面に透明の高耐候性フィルムにより被覆した鋼板（JIS H 4000 A 5052）を標準とする。</u></p> <p>8-1-6・8-1-7 [略]</p> <p>第2節～第7節 [略]</p> | 仕 様 | エッチング(凸式)銘板又は機械彫刻式銘板 | 寸 法 | 200×315(mm)、250×400(mm)、315×500(mm)、400×630(mm) | 材 質 | 青銅鋳物、ステンレス鋼板、 <u>アルミニウム板</u> のいずれか | <p>第8章 ダム管理設備</p> <p>第1節 通 則</p> <p>8-1-1～8-1-4 [略]</p> <p>8-1-5 銘 板</p> <p>1 [略]</p> <p>2 銘 板</p> <p>銘板は、JIS Z 8304(銘板の設計基準)に準ずるものとし、仕様は下表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表8-1-1 銘板の標準規格</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>仕 様</td> <td>エッチング(凸式)銘板又は機械彫刻式銘板</td> </tr> <tr> <td>寸 法</td> <td>200×315(mm)、250×400(mm)、315×500(mm)、400×630(mm)</td> </tr> <tr> <td>材 質</td> <td><u>黄銅板</u>、青銅鋳物、ステンレス鋼板のいずれか</td> </tr> </table> <p style="text-align: center;"><u>[新設]</u></p> <p>8-1-6・8-1-7 [略]</p> <p>第2節～第7節 [略]</p> | 仕 様 | エッチング(凸式)銘板又は機械彫刻式銘板 | 寸 法 | 200×315(mm)、250×400(mm)、315×500(mm)、400×630(mm) | 材 質 | <u>黄銅板</u> 、青銅鋳物、ステンレス鋼板のいずれか |
| 仕 様 | エッチング(凸式)銘板又は機械彫刻式銘板 | | | | | | | | | | | | |
| 寸 法 | 200×315(mm)、250×400(mm)、315×500(mm)、400×630(mm) | | | | | | | | | | | | |
| 材 質 | 青銅鋳物、ステンレス鋼板、 <u>アルミニウム板</u> のいずれか | | | | | | | | | | | | |
| 仕 様 | エッチング(凸式)銘板又は機械彫刻式銘板 | | | | | | | | | | | | |
| 寸 法 | 200×315(mm)、250×400(mm)、315×500(mm)、400×630(mm) | | | | | | | | | | | | |
| 材 質 | <u>黄銅板</u> 、青銅鋳物、ステンレス鋼板のいずれか | | | | | | | | | | | | |

| 改 正 案 | 改 正 前 |
|--|--|
| <p style="text-align: center;">第 10 章 鋼橋上部工</p> <p>第 1 節 通 則</p> <p>10-1-1・10-1-2 [略]</p> <p>10-1-3 銘板</p> <p>1 受注者は、<u>橋歴板に用いる材質は表面に透明の高耐候性フィルムにより被覆したアルミニウム板（JIS H 4000 A 5052 P）を標準とする。また、橋歴板に用いる色は黒地に金色とすることとし、縁についても同様に金色とする。なお、寸法及び記載事項は、図 10-1-1 橋歴板の記載例によらなければならない。ただし、記載する技術者等の氏名について、これにより難い場合は監督職員と協議しなければならない。</u></p> <p><u>[削る。]</u> <u>[削る。]</u> <u>[削る。]</u> <u>[削る。]</u> <u>[削る。]</u> <u>[削る。]</u> <u>[削る。]</u> <u>[削る。]</u></p> <div data-bbox="329 1150 1145 1602" data-label="Diagram"> </div> <p style="text-align: center;">※1 管理技術者氏名、※2 監理技術者氏名</p> <p style="text-align: center;">図 10-1-1 銘板の寸法及び記載事項</p> <p>2 橋歴板 受注者は、橋歴板は起点左側、橋梁端部に取付けるものとし、取付け位置については、監督職員の指示によらなければならない。</p> <p>3 <u>受注者は、橋歴板に記載する年月は、橋梁の完成年月を記入しなければならない。</u></p> | <p style="text-align: center;">第 10 章 鋼橋上部工</p> <p>第 1 節 通 則</p> <p>10-1-1・10-1-2 [略]</p> <p>10-1-3 銘板</p> <p>1 受注者は、<u>次の内容を記録した橋歴板を製作しなければならない。</u></p> <p>(1) <u>橋 名</u> (2) <u>完成年月(製作年月)</u> (3) <u>事業名等</u> (4) <u>適用示方書</u> (5) <u>活荷重</u> (6) <u>使用鋼材</u> (7) <u>設計会社</u> (8) <u>製作会社</u> (9) <u>施工会社</u></p> <p style="text-align: right;"><u>[新設]</u></p> <p>2 橋歴板 受注者は、橋歴板は起点左側、橋梁端部に取付けるものとし、取付け位置については、監督職員の指示によらなければならない。</p> <p><u>[新設]</u></p> |

改正案

10-1-4 塗装記録

1 受注者は、最終塗装の完了後、橋体起点側（左）又は終点側（右）の外桁腹板に、ペイント又は耐候性に優れたフィルム状の粘着シートにより図 10-1-2のとおり記録しなければならない。

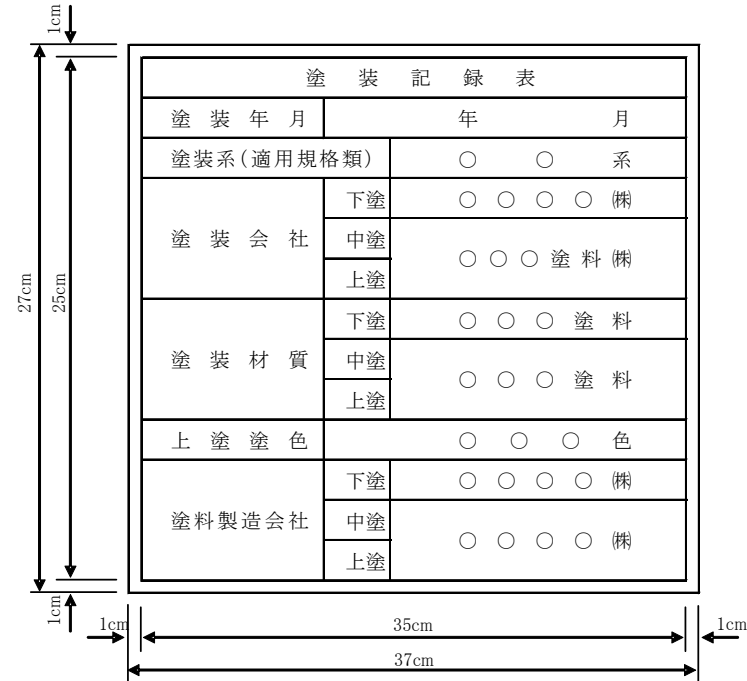


図 10-1-2 塗装記録表の仕様

第2節～第7節 [略]

第8節 支 承 工

10-8-1 [略]

10-8-2 支 承 工

- 1 受注者は、支承工の施工については、「道路橋支承便覧 第6章 支承部の施工」（日本道路協会）による。これにより難しい場合は、監督職員の承諾を得なければならない。
- 2 [略]

第9節 [略]

改正前

10-1-4 塗装記録

1 受注者は、最終塗装の完了後、橋体起点側（左）又は終点側（右）の外桁腹板に、ペイント又は耐候性に優れたフィルム状の粘着シートにより図 10-1-1のとおり記録しなければならない。

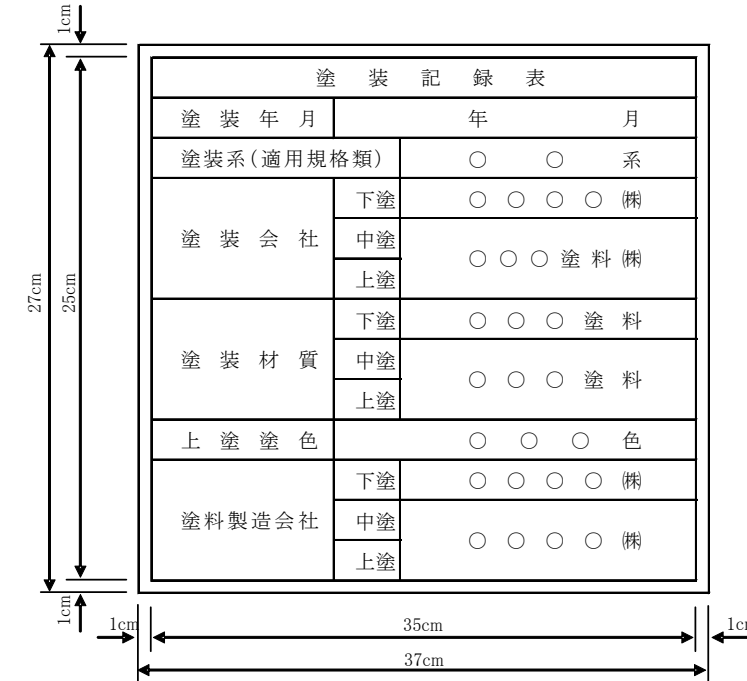


図 10-1-1 塗装記録表の仕様

第2節～第7節 [略]

第8節 支 承 工

10-8-1 [略]

10-8-2 支 承 工

- 1 受注者は、支承工の施工については、「道路橋支承便覧 第5章 支承部の施工」（日本道路協会）による。これにより難しい場合は、監督職員の承諾を得なければならない。
- 2 [略]

第9節 [略]

| 改正後 | 改正前 |
|---|--|
| <p style="text-align: center;">第 12 章 電気設備</p> <p>第 1 節 通 則</p> <p>12-1-1 [略]</p> <p>12-1-2 一般事項</p> <p>1～9 [略]</p> <p>10 各盤の配線及び構造</p> <p>監視操作制御設備等の各盤の配線及び構造等については、<u>JIS C 62271-200(金属閉鎖形スイッチギヤ及びコントロールギヤ)</u>、JEM 1265 (低圧金属閉鎖形スイッチギヤ及びコントロールギヤ)、JEM 1459 (配電盤、制御盤の構造及び寸法)等の該当する規格による。これにより難しい場合は、監督職員の承諾を得なければならない。</p> <p>11 [略]</p> <p>12 配線方式</p> <p>監視操作制御設備等の配線方式は、次のとおりとする。</p> <p>(1) 電線の種類及び電線被覆の色別は、<u>JIS C 62271-200</u>、JEM 1265 等の該当する規格による。これにより難しい場合は、監督職員の承諾を得なければならない。</p> <p>(2)・(3) [略]</p> <p>13 盤名称板</p> <p>監視操作制御設備等の盤名称板は、<u>JIS C 62271-200</u> によるもののほか、次によるものとする。これにより難しい場合は、監督職員の承諾を得なければならない。</p> <p>(1)～(4) [略]</p> <p>14～16 [略]</p> <p>第 2 節～第 7 節 [略]</p> | <p style="text-align: center;">第 12 章 電気設備</p> <p>第 1 節 通 則</p> <p>12-1-1 [略]</p> <p>12-1-2 一般事項</p> <p>1～9 [略]</p> <p>10 各盤の配線及び構造</p> <p>監視操作制御設備等の各盤の配線及び構造等については、<u>JEM 1425(金属閉鎖形スイッチギヤ及びコントロールギヤ)</u>、JEM 1265 (低圧金属閉鎖形スイッチギヤ及びコントロールギヤ)、JEM 1459 (配電盤、制御盤の構造及び寸法)等の該当する規格による。これにより難しい場合は、監督職員の承諾を得なければならない。</p> <p>11 [略]</p> <p>12 配線方式</p> <p>監視操作制御設備等の配線方式は、次のとおりとする。</p> <p>(1) 電線の種類及び電線被覆の色別は、<u>JEM 1425</u>、JEM 1265 等の該当する規格による。これにより難しい場合は、監督職員の承諾を得なければならない。</p> <p>(2)・(3) [略]</p> <p>13 盤名称板</p> <p>監視操作制御設備等の盤名称板は、<u>JEM 1425</u> によるもののほか、次によるものとする。これにより難しい場合は、監督職員の承諾を得なければならない。</p> <p>(1)～(4) [略]</p> <p>14～16 [略]</p> <p>第 2 節～第 7 節 [略]</p> |

| 改正後 | 改正前 |
|--|---|
| <p style="text-align: center;">第 13 章 水管理制御設備</p> <p>第 1 節 [略]</p> <p>第 2 節 情報処理設備</p> <p>13-2-1~13-2-5 [略]</p> <p>13-2-6 プリンタ</p> <p>本機器の機能は次のとおりとする。</p> <p>1~3 [略]</p> <p><u>[削る。]</u></p> <p><u>4</u> プリンタ切換器は、2台のパソコンで1台のプリンタを共有するもので、先に入力された方を優先して自動的に切り換え、印刷中断時に他方の処理装置が入力しても、一定時間内なら続けて優先する占有タイムを搭載し出力データの混在が発生しないものとする。</p> <p><u>5</u> プリンタバッファは、複数台のパソコンで1台のプリンタを共有するもので、バッファ機能を有し、データの転送が終了した段階でパソコンを開放し効率的な利用が可能なものとする。</p> <p><u>6</u> LAN インタフェースはプリンタに内蔵し、LAN に接続されている複数台のパソコンが1台のプリンタを共有可能なものとする。</p> <p>13-2-7~13-2-9 [略]</p> <p>第 3 節~第 10 節 [略]</p> | <p style="text-align: center;">第 13 章 水管理制御設備</p> <p>第 1 節 [略]</p> <p>第 2 節 情報処理設備</p> <p>13-2-1~13-2-5 [略]</p> <p>13-2-6 プリンタ</p> <p>本機器の機能は次のとおりとする。</p> <p>1~3 [略]</p> <p><u>4 シリアルプリンタは、アナウンスメント、時報、日報、月報、年報の記録(印字)に使用できるものとし、白紙フォーム又は印刷フォームに印字可能なものとする。</u></p> <p><u>5</u> プリンタ切換器は、2台のパソコンで1台のプリンタを共有するもので、先に入力された方を優先して自動的に切り換え、印刷中断時に他方の処理装置が入力しても、一定時間内なら続けて優先する占有タイムを搭載し出力データの混在が発生しないものとする。</p> <p><u>6</u> プリンタバッファは、複数台のパソコンで1台のプリンタを共有するもので、バッファ機能を有し、データの転送が終了した段階でパソコンを開放し効率的な利用が可能なものとする。</p> <p><u>7</u> LAN インタフェースはプリンタに内蔵し、LAN に接続されている複数台のパソコンが1台のプリンタを共有可能なものとする。</p> <p>13-2-7~13-2-9 [略]</p> <p>第 3 節~第 10 節 [略]</p> |

改 正 後

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--------|---------------|-------------------------------|--|---------------------|-------------------|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|------------------|---|
| 契約関係書類 | 68 | 完成通知書 | 工事請負契約書第32条第1項 | 様式38 | - | ○ | - | ○ | - | ○ | - | - | - | - | ○ | - | - | - | - | |
| | 69 | 修補完了報告書 | 工事請負契約書第32条第1項 | 様式24 | - | ○ | ○ | - | - | ○ | - | - | - | - | ○ | - | ○ | - | ○ | 修補がなければ不要 |
| | 70 | 修補完了届 | 工事請負契約書第32条第6項 | 様式25 | - | ○ | - | ○ | - | ○ | - | - | - | - | ○ | - | - | - | - | 〃 |
| | 71 | 引渡書 | 工事請負契約書第32条第4項 | 様式19 | - | ○ | - | ○ | - | ○ | - | - | - | - | ○ | - | - | - | - | - |
| | 72 | 請求書(完成払金) | 工事請負契約書第33条第1項 | 様式39 | - | ○ | - | ○ | - | ○ | - | - | - | - | ○ | - | - | - | - | - |
| | 工事完成時 工事書類 | 73 | 出来形管理図表 | 共通仕様書第1編1-1-2の10 | 施設機械工事等 施工管理基準 | - | ○ | ● | - | - | - | - | - | - | - | ▲ | - | ○ | - | - |
| | | 74 | 出来形数量 | 共通仕様書第1編1-1-2の2 | - | - | ○ | ● | - | - | - | - | - | - | - | ▲ | - | ○ | - | - |
| | | 75 | 品質管理図表 | 共通仕様書第1編1-1-2の10,11 | 施設機械工事等 施工管理基準 | - | ○ | ● | - | - | - | - | - | - | - | ▲ | - | ○ | - | - |
| | | 76 | 工事材料品質証明書 | 共通仕様書第1編2-1-3の1 | - | - | ○ | ● | - | - | - | - | - | - | - | ▲ | - | ○ | - | - |
| | | 77 | 工事写真 | 共通仕様書第1編1-1-2の10 | 施設機械工事等 施工管理基準 | - | ○ | ● | - | - | - | - | - | - | - | ▲ | - | ○ | - | - |
| 78 | | 工事特性・創意工夫・社会性等・技術提案確認に関する実施状況 | 平成13年4月2日付12経第2806号別添「工事に関する入札に係る総合評価落札方式のガイドライン」第2V2(2) | 様式40 | - | ○ | ● | - | - | - | - | - | - | - | ○ | - | ○ | - | ○ | 該当項目がある場合に報告 |
| 79 | | 完成図書及び施工図 | 共通仕様書第1編1-1-2 | - | - | ○ | ● | - | - | - | - | - | - | - | ▲ | - | ○ | - | ○ | 施工図は、設備の改造、機器更新等を施工し、既存の施工図の内容と相異が生じる部分が発生した場合に提出 |
| 80 | 電子納品 | 共通仕様書第1編1-1-2 | - | - | ○ | ○ | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | ○ | CD-R、DVD-R又はBD-R | |
| その他 | 81 | 報告書(建設リサイクル法第18条) | 建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律第18条第1項 | 様式41 | - | ○ | ○ | - | - | - | - | - | - | ▲ | - | ○ | - | ○ | 該当する資材がある場合に提出 | |
| | 82 | 再生資源利用計画書(実施書) | 共通仕様書第1編1-1-2の5.11 | 様式9 | - | ○ | ○ | - | - | - | - | - | - | - | ○ | - | ○ | - | ○ | 該当する建設資材を搬入した場合に提出 |
| | 83 | 再生資源利用促進計画書(実施書) | 共通仕様書第1編1-1-2の7.11 | 様式10 | - | ○ | ○ | - | - | - | - | - | - | - | ○ | - | ○ | - | ○ | 該当する建設副産物を搬出した場合に提出 |

(注) 提出欄に「●」表記のある書類は、打合簿を添付して提出。
提出物について、共通仕様書第1編1-1-2(3)により応達された書類の紙による提出は不要とする。
情報共有システム取扱対象欄に「▲」表記のある書類は、打合せ簿に添付することで、情報共有システムによる提出が可能書類。

工事関係書類様式

| 番号 | 書類名 | 備考 |
|----------|----------------------------------|-------|
| 様式-1 | 現場代理人及び主任技術者等通知書 | 土木と共通 |
| 様式-2 | 委任権限除外通知書 | 〃 |
| 様式-3 | 請負代金内訳書、工程表 | [削る。] |
| 様式-4 | 建設業退職金共済制度掛金収納書 | |
| 様式-5 | 請求書(前払金) | 土木と共通 |
| 様式-6 | VE提案書(契約後VE) | 〃 |
| 様式-7 [1] | 施工体制台帳 | 〃 |
| 様式-7 [2] | 再下請負通知書 | 〃 |
| 様式-7 [3] | 作業員名簿 | 〃 |
| 様式-8 | 施工体系図 | 〃 |
| 様式-9 | 再生資源利用計画書 | 〃 |
| 様式-10 | 再生資源利用促進計画書 | 〃 |
| 様式-11 | 通知書(建設リサイクル法第11条) | 〃 |
| 様式-12 | 説明書(建設リサイクル法第12条) | 〃 |
| 様式-13 | 建設工事に係る資材の再資源化に関する法律第13条に基づく記載事項 | 〃 |

改 正 前

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--------|---------------|-------------------------------|--|---------------------|-------------------|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|------------------|---|
| 契約関係書類 | 68 | 完成通知書 | 工事請負契約書第32条第1項 | 様式38 | - | ○ | - | ○ | - | ○ | - | - | - | ○ | - | - | - | - | - | |
| | 69 | 修補完了報告書 | 工事請負契約書第32条第1項 | 様式24 | - | ○ | ○ | - | - | ○ | - | - | - | - | ○ | - | ○ | - | ○ | 修補がなければ不要 |
| | 70 | 修補完了届 | 工事請負契約書第32条第6項 | 様式25 | - | ○ | - | ○ | - | ○ | - | - | - | - | ○ | - | - | - | - | 〃 |
| | 71 | 引渡書 | 工事請負契約書第32条第4項 | 様式19 | - | ○ | - | ○ | - | ○ | - | - | - | - | ○ | - | - | - | - | - |
| | 72 | 請求書(完成払金) | 工事請負契約書第33条第1項 | 様式39 | - | ○ | - | ○ | - | ○ | - | - | - | - | ○ | - | - | - | - | - |
| | 工事完成時 工事書類 | 73 | 出来形管理図表 | 共通仕様書第1編1-1-2の10 | 施設機械工事等 施工管理基準 | - | ○ | ● | - | - | - | - | - | - | - | ▲ | - | ○ | - | - |
| | | 74 | 出来形数量 | 共通仕様書第1編1-1-2の2 | - | - | ○ | ● | - | - | - | - | - | - | - | ▲ | - | ○ | - | - |
| | | 75 | 品質管理図表 | 共通仕様書第1編1-1-2の10,11 | 施設機械工事等 施工管理基準 | - | ○ | ● | - | - | - | - | - | - | - | ▲ | - | ○ | - | - |
| | | 76 | 工事材料品質証明書 | 共通仕様書第1編2-1-3の1 | - | - | ○ | ● | - | - | - | - | - | - | - | ▲ | - | ○ | - | - |
| | | 77 | 工事写真 | 共通仕様書第1編1-1-2の10 | 施設機械工事等 施工管理基準 | - | ○ | ● | - | - | - | - | - | - | - | ▲ | - | ○ | - | - |
| 78 | | 工事特性・創意工夫・社会性等・技術提案確認に関する実施状況 | 平成13年4月2日付12経第2806号別添「工事に関する入札に係る総合評価落札方式のガイドライン」第2V2(2) | 様式40 | - | ○ | ● | - | - | - | - | - | - | - | ○ | - | ○ | - | ○ | 該当項目がある場合に報告 |
| 79 | | 完成図書及び施工図 | 共通仕様書第1編1-1-2 | - | - | ○ | ● | - | - | - | - | - | - | - | ▲ | - | ○ | - | ○ | 施工図は、設備の改造、機器更新等を施工し、既存の施工図の内容と相異が生じる部分が発生した場合に提出 |
| 80 | 電子納品 | 共通仕様書第1編1-1-2 | - | - | ○ | ○ | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | ○ | CD-R、DVD-R又はBD-R | |
| その他 | 81 | 報告書(建設リサイクル法第18条) | 建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律第18条第1項 | 様式41 | - | ○ | ○ | - | - | - | - | - | - | ▲ | - | ○ | - | ○ | 該当する資材がある場合に提出 | |
| | 82 | 再生資源利用計画書(実施書) | 共通仕様書第1編1-1-2の5.11 | 様式9 | - | ○ | ○ | - | - | - | - | - | - | - | ○ | - | ○ | - | ○ | 該当する建設資材を搬入した場合に提出 |
| | 83 | 再生資源利用促進計画書(実施書) | 共通仕様書第1編1-1-2の7.11 | 様式10 | - | ○ | ○ | - | - | - | - | - | - | - | ○ | - | ○ | - | ○ | 該当する建設副産物を搬出した場合に提出 |

(注) 提出欄に「●」表記のある書類は、打合簿を添付して提出。
提出物について、共通仕様書第1編1-1-2(3)により応達された書類の紙による提出は不要とする。
情報共有システム取扱対象欄に「▲」表記のある書類は、打合せ簿に添付することで、情報共有システムによる提出が可能書類。

工事関係書類様式

| 番号 | 書類名 | 備考 |
|----------|----------------------------------|-------|
| 様式-1 | 現場代理人及び主任技術者等通知書 | 土木と共通 |
| 様式-2 | 委任権限除外通知書 | 〃 |
| 様式-3 | 請負代金内訳書、工程表 | 〃 |
| 様式-4 | 建設業退職金共済制度掛金収納書 | |
| 様式-5 | 請求書(前払金) | 土木と共通 |
| 様式-6 | VE提案書(契約後VE) | 〃 |
| 様式-7 [1] | 施工体制台帳 | 〃 |
| 様式-7 [2] | 再下請負通知書 | 〃 |
| 様式-7 [3] | 作業員名簿 | 〃 |
| 様式-8 | 施工体系図 | 〃 |
| 様式-9 | 再生資源利用計画書 | 〃 |
| 様式-10 | 再生資源利用促進計画書 | 〃 |
| 様式-11 | 通知書(建設リサイクル法第11条) | 〃 |
| 様式-12 | 説明書(建設リサイクル法第12条) | 〃 |
| 様式-13 | 建設工事に係る資材の再資源化に関する法律第13条に基づく記載事項 | 〃 |

| 改正後 | | | 改正前 | | |
|--|-------------------------------|-------|--|-------------------------------|-------|
| 様式-14 | 中間前金払認定願 | 〃 | 様式-14 | 中間前金払認定願 | 〃 |
| 様式-15 | 工事出来高内訳書 | 〃 | 様式-15 | 工事出来高内訳書 | 〃 |
| 様式-16 | 検査済材料費計算書 | 〃 | 様式-16 | 検査済材料費計算書 | 〃 |
| 様式-17 | 請求書（中間前払金） | 〃 | 様式-17 | 請求書（中間前払金） | 〃 |
| 様式-18 | 指定部分完成通知書 | 〃 | 様式-18 | 指定部分完成通知書 | 〃 |
| 様式-19 | （指定部分）引渡書 | 〃 | 様式-19 | （指定部分）引渡書 | 〃 |
| 様式-20 | 請求書（指定部分支払） | 〃 | 様式-20 | 請求書（指定部分支払） | 〃 |
| 様式-21 | 既済部分出来高明細書 | 〃 | 様式-21 | 既済部分出来高明細書 | 〃 |
| 様式-22 | 出来形部分検査願（第 回） | 〃 | 様式-22 | 出来形部分検査願（第 回） | 〃 |
| 様式-23 | 請求書（第 回部分払金） | 〃 | 様式-23 | 請求書（第 回部分払金） | 〃 |
| 様式-24 | 修補完了報告書 | 〃 | 様式-24 | 修補完了報告書 | 〃 |
| 様式-25 | 修補完了届 | 〃 | 様式-25 | 修補完了届 | 〃 |
| 様式-26 | 工期変更願 | 〃 | 様式-26 | 工期変更願 | 〃 |
| 様式-27 | 支給材料請求書（貸与品請求書） | 〃 | 様式-27 | 支給材料請求書（貸与品請求書） | 〃 |
| 様式-28 | 支給材料受領書（貸与品借用書） | 〃 | 様式-28 | 支給材料受領書（貸与品借用書） | 〃 |
| 様式-29 | 支給材料返還書（貸与品返還書） | 〃 | 様式-29 | 支給材料返還書（貸与品返還書） | 〃 |
| 様式-30 | 工事現場発生材報告書 | 〃 | 様式-30 | 工事現場発生材報告書 | 〃 |
| 様式-31 | 打合簿 | 〃 | 様式-31 | 打合簿 | 〃 |
| 様式-32 | 立会願 | | 様式-32 | 立会願 | |
| 様式-33 | 施工段階確認簿 | | 様式-33 | 施工段階確認簿 | |
| 様式-34 | 材料検査簿 | 土木と共通 | 様式-34 | 材料検査簿 | 土木と共通 |
| 様式-35 | 休日等作業届 | 〃 | 様式-35 | 休日等作業届 | 〃 |
| 様式-36 | 事故報告書 | | 様式-36 | 事故報告書 | |
| 様式-37 | 工事履行報告書 | | 様式-37 | 工事履行報告書 | |
| 様式-38 | 完成通知書 | 土木と共通 | 様式-38 | 完成通知書 | 土木と共通 |
| 様式-39 | 請求書（完成払金） | 〃 | 様式-39 | 請求書（完成払金） | 〃 |
| 様式-40 | 工事特性・創意工夫・社会性等・技術提案確認に関する実施状況 | | 様式-40 | 工事特性・創意工夫・社会性等・技術提案確認に関する実施状況 | |
| 様式-41 | 報告書（建設リサイクル法第18条） | 土木と共通 | 様式-41 | 報告書（建設リサイクル法第18条） | 土木と共通 |
| 様式-42 | 工事の施工効率向上対策打合せ記録簿 | 〃 | 様式-42 | 工事の施工効率向上対策打合せ記録簿 | 〃 |
| <p>（注）提出部数は原則1部とする。</p> <p>様式1・様式2 [略]</p> | | | <p>（注）提出部数は原則1部とする。</p> <p>様式1・様式2 [略]</p> | | |

改正後

(様式3-1)

請負代金内訳書

年 月 日

(契約担当官等)

(官 職 氏 名) 殿

受注者 住 所
会 社 名 等
現 場 代 理 人

工 事 名

年 月 日 契約締結した上記の工事について、工事請負契約書第3条の規定に基づき請負代金内訳書を提出します。

| 項 目 | 数 量 | 単 位 | 金 額 |
|--------------------------------|-----|-----|-----|
| 工事費計 | 1 | 式 | |
| 消費税相当額 | 1 | 式 | |
| 工事価格 | 1 | 式 | |
| 製作工事原価 | 1 | 式 | |
| 直接製作費 | 1 | 式 | |
| 間接製作費 | 1 | 式 | |
| 間接労務費 | 1 | 式 | |
| 工場管理費 | 1 | 式 | |
| 据付工事原価 | 1 | 式 | |
| 直接工事費 | 1 | 式 | |
| 間接工事費 | 1 | 式 | |
| 共通仮設費 | 1 | 式 | |
| 現場管理費 | 1 | 式 | |
| 据付間接費 | 1 | 式 | |
| 設計技術費 | 1 | 式 | |
| 一般管理費等 | 1 | 式 | |
| | | | |
| 材料費(直接製作費、直接工事費の内数(税抜き)) | 1 | 式 | |
| 労務費(直接製作費、直接工事費の内数(税抜き)) | 1 | 式 | |
| 法定福利費(間接製作費、現場管理費の内数(税抜き)) | 1 | 式 | |
| 建設業退職金共済契約に係る掛金(現場管理費の内数(税抜き)) | 1 | 式 | |
| 安全衛生費(工事原価の内数(税抜き)) | 1 | 式 | |
| | | | |

- (注) 1. 請負代金内訳書は契約締結後速やかに提出すること。
2. 局契約に係るものについては、事業所等を経由して提出すること。

[削る。]

改正前

(様式3-1)

請負代金内訳書

年 月 日

(契約担当官等)

(官 職 氏 名) 殿

受注者 住 所
会 社 名 等
現 場 代 理 人

工 事 名

年 月 日 契約締結した上記の工事について、工事請負契約書第3条の規定に基づき請負代金内訳書を提出します。

| 項 目 | 数 量 | 単 位 | 金 額 |
|---------------------|------|------|-----|
| 工事費計 | 1 | 式 | |
| 消費税相当額 | 1 | 式 | |
| 工事価格 | 1 | 式 | |
| 工事原価 | 1 | 式 | |
| [新設] | [新設] | [新設] | |
| [新設] | [新設] | [新設] | |
| [新設] | [新設] | [新設] | |
| [新設] | [新設] | [新設] | |
| [新設] | [新設] | [新設] | |
| 直接工事費 | 1 | 式 | |
| 間接工事費 | 1 | 式 | |
| [新設] | [新設] | [新設] | |
| [新設] | [新設] | [新設] | |
| [新設] | [新設] | [新設] | |
| [新設] | [新設] | [新設] | |
| 一般管理費等 | 1 | 式 | |
| | | | |
| [新設] | [新設] | [新設] | |
| [新設] | [新設] | [新設] | |
| 法定福利費(工事価格の内数(税抜き)) | 1 | 式 | |
| [新設] | [新設] | [新設] | |
| [新設] | [新設] | [新設] | |
| | | | |

- (注) 1. 請負代金内訳書は契約締結後速やかに提出すること。
2. 局契約に係るものについては、事業所等を経由して提出すること。

3. 施設機械工事については、「直接工事費」、「間接工事費」を「製作工事原価」、「据付工事原価」、「設計技術費」に変更して提出すること。

改正後

改正前

(様式3-2)

請負代金内訳書

年 月 日

(契約担当官等)

(官職氏名)

殿

受注者 住 所

会社名等

現場代理人

工事名

年 月 日契約締結した上記の工事について、工事請負契約書第3条の規定に基づき請負代金内訳書を提出します。

| 項 目 | 数 量 | 単 位 | 金 額 |
|--------------------------------|-----|-----|-----|
| 工事費計 | 1 | 式 | |
| 消費税相当額 | 1 | 式 | |
| 工事価格 | 1 | 式 | |
| 製作工事原価 | 1 | 式 | |
| 据付工事原価 | 1 | 式 | |
| 直接工事費 | 1 | 式 | |
| 間接工事費 | 1 | 式 | |
| 共通仮設費 | 1 | 式 | |
| 現場管理費 | 1 | 式 | |
| 機器間接費 | 1 | 式 | |
| 一般管理費等 | 1 | 式 | |
| | | | |
| 材料費(直接工事費の内数(税抜き)) | 1 | 式 | |
| 労務費(直接工事費の内数(税抜き)) | 1 | 式 | |
| 法定福利費(機器間接費、現場管理費の内数(税抜き)) | 1 | 式 | |
| 建設業退職金共済契約に係る掛金(現場管理費の内数(税抜き)) | 1 | 式 | |
| 安全衛生費(据付工事原価の内数(税抜き)) | 1 | 式 | |
| | | | |

(注) 1. 請負代金内訳書は契約締結後速やかに提出すること。

2. 局契約に係るものについては、事業所等を経由して提出すること。

[新設]

改正後

(様式3-3)

工 程 表

年 月 日

(契約担当官等)

(官 職 氏 名)

殿

受注者 住 所

会 社 名 等

現 場 代 理 人

工 事 名

年 月 日契約締結した上記の工事について工事請負契約書第3条の規定に基づき、別紙のとおり工程表を提出します。

(注) 1. 工程表は契約締結後速やかに提出すること。

2. 局契約に係るものについては、事業所等を経由して提出すること。

改正前

(様式3-2)

工 程 表

年 月 日

(契約担当官等)

(官 職 氏 名)

殿

受注者 住 所

会 社 名 等

現 場 代 理 人

工 事 名

年 月 日契約締結した上記の工事について工事請負契約書第3条の規定に基づき、別紙のとおり工程表を提出します。

(注) 1. 工程表は契約締結後速やかに提出すること。

2. 局契約に係るものについては、事業所等を経由して提出すること。

改正後

(様式3-4)
別紙

工 程 表

工期 年 月 日から
年 月 日まで

| 工種 | 細目 | 数量 | 月 | | 月 | | 月 | | 備考 |
|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|
| | | | 10 | 20 | 10 | 20 | 10 | 20 | |
| | | | | | | | | | |

- (注) 1. 工程は棒線をもって表示すること。
2. 工程に変更があった場合は、変更前の工程を上段に点線で表示すること。
3. A4縦より大きい用紙を使用する場合は折りたたんでA4縦とすること。

改正前

(様式3-3)
別紙

工 程 表

工期 年 月 日から
年 月 日まで

| 工種 | 細目 | 数量 | 月 | | 月 | | 月 | | 備考 |
|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|
| | | | 10 | 20 | 10 | 20 | 10 | 20 | |
| | | | | | | | | | |

- (注) 1. 工程は棒線をもって表示すること。
2. 工程に変更があった場合は、変更前の工程を上段に点線で表示すること。
3. A4縦より大きい用紙を使用する場合は折りたたんでA4縦とすること。

改正後

改正前

(様式4-1)

建設業退職金共済制度掛金収納書

年 月 日

(契約担当官等)

(官 職 氏 名) 殿

受注者 住 所
会 社 名 等
現 場 代 理 人

工 事 名

年 月 日契約締結した上記の工事について、施設機械工事等共通仕様書第1章1-1-5.4第6項の規定に基づき掛金収納書を提出いたします。

| 契約金額 | 購入金額 |
|------|------|
| | |

- (注) 1 枠内に掛金収納書を貼り付けること。
2 局契約に係るものについては、事業所等を経由して提出すること。

(様式4-1)

建設業退職金共済制度掛金収納書

年 月 日

(契約担当官等)

(官 職 氏 名) 殿

受注者 住 所
会 社 名 等
現 場 代 理 人

工 事 名

年 月 日契約締結した上記の工事について、施設機械工事等共通仕様書第1章1-1-5.3第6項の規定に基づき掛金収納書を提出いたします。

| 契約金額 | 購入金額 |
|------|------|
| | |

- (注) 1 枠内に掛金収納書を貼り付けること。
2 局契約に係るものについては、事業所等を経由して提出すること。

改正後

様式4-2~様式35 [略]

(様式36)

事故報告書

年 月 日

主任監督員 (氏名) 殿

受注者 住 所
会社名等
現場代理人

施設機械工事等共通仕様書第1章1-1-4.2の規定に基づき、下記のとおり報告いたします。

記

- 1 工事件名
- 2 契約締結年月日
- 3 事故発生日時
- 4 事故発生場所
- 5 被災者

| | |
|------|----|
| 氏名 | 性別 |
| 生年月日 | 年齢 |
| 所属 | 職種 |
| 経験年数 | |
| 住所 | |
- 6 被災者の病状
- 7 事故原因
- 8 事故発生状況 (位置図、平面図、ポンチ絵等)
- 9 事故後の措置

| 日 時 | 措 置 内 容 | 相 手 方 |
|-----|----------------------------------|-------|
| | (提出後最終措置まで記載し保管する) (別紙としてもよい) | |

- 10 今後の対策
- 11 添付書類 (写真、新聞切抜等)

*事故調査委員会 (委員長が必要と認めた場合招集) を開催し、報告する。

改正前

様式4-2~様式35 [略]

(様式36)

事故報告書

年 月 日

主任監督員 (氏名) 殿

受注者 住 所
会社名等
現場代理人

施設機械工事等共通仕様書第1章1-1-4.1の規定に基づき、下記のとおり報告いたします。

記

- 1 工事件名
- 2 契約締結年月日
- 3 事故発生日時
- 4 事故発生場所
- 5 被災者

| | |
|------|----|
| 氏名 | 性別 |
| 生年月日 | 年齢 |
| 所属 | 職種 |
| 経験年数 | |
| 住所 | |
- 6 被災者の病状
- 7 事故原因
- 8 事故発生状況 (位置図、平面図、ポンチ絵等)
- 9 事故後の措置

| 日 時 | 措 置 内 容 | 相 手 方 |
|-----|----------------------------------|-------|
| | (提出後最終措置まで記載し保管する) (別紙としてもよい) | |

- 10 今後の対策
- 11 添付書類 (写真、新聞切抜等)

*事故調査委員会 (委員長が必要と認めた場合招集) を開催し、報告する。

改正後

参考

施設機械工事等共通仕様書における「指示・承諾・協議・提出・報告」の一覧表

| 指示 | | 承諾 | | 協議 | | 提出 | | 報告 | |
|----------------|--------|----------------|--------|----------------|--------|----------------|--|----------------|--------|
| 章-節- 条 | 内 容 | 章-節- 条 | 内 容 | 章-節- 条 | 内 容 | 章-節- 条 | 内 容 | 章-節- 条 | 内 容 |
| 第1章 総則 | | | | | | | | | |
| 1-1-1 | [略] | 1-1-2 | [略] | 1-1- <u>8</u> | [略] | 1-1-3 | [略] | 1-1- <u>26</u> | [略] |
| 1-1-6 | [略] | 1-1-3 | [略] | 1-1- <u>9</u> | [略] | 1-1-4 | [略] | 1-1- <u>37</u> | [略] |
| 1-1- <u>14</u> | [略] | 1-1-6 | [略] | 1-1- <u>21</u> | [略] | 1-1-6 | [略] | 1-1- <u>39</u> | [略] |
| 1-1- <u>19</u> | [略] | 1-1- <u>8</u> | [略] | 1-1- <u>22</u> | [略] | 1-1- <u>8</u> | [略] | 1-1- <u>43</u> | [略] |
| 1-1- <u>20</u> | [略] | 1-1- <u>10</u> | [略] | 1-1- <u>25</u> | [略] | 1-1- <u>11</u> | [略] | 1-1- <u>48</u> | [略] |
| 1-1- <u>23</u> | [略] | 1-1- <u>20</u> | [略] | 1-1- <u>29</u> | [略] | 1-1- <u>17</u> | [略] | 1-1- <u>50</u> | [略] |
| 1-1- <u>24</u> | [略] | 1-1- <u>23</u> | [略] | 1-1- <u>30</u> | [略] | 1-1- <u>19</u> | [略] | 1-1- <u>52</u> | [略] |
| 1-1- <u>26</u> | [略] | 1-1- <u>25</u> | [略] | 1-1- <u>35</u> | [略] | 1-1- <u>20</u> | [略] | 1-1- <u>54</u> | [略] |
| 1-1- <u>31</u> | [略] | 1-1- <u>35</u> | [略] | 1-1- <u>43</u> | [略] | 1-1- <u>21</u> | [略] | 1-1- <u>55</u> | [略] |
| 1-1- <u>32</u> | [略] | 1-1- <u>39</u> | [略] | 1-1- <u>44</u> | [略] | 1-1- <u>23</u> | [略] | 1-1- <u>57</u> | [略] |
| 1-1- <u>35</u> | [略] | 1-1- <u>50</u> | [略] | 1-1- <u>46</u> | [略] | 1-1- <u>24</u> | [略] | | |
| 1-1- <u>41</u> | [略] | 1-1- <u>51</u> | [略] | 1-1- <u>47</u> | [略] | 1-1- <u>25</u> | [略] | | |
| 1-1- <u>42</u> | [略] | | | 1-1- <u>48</u> | [略] | 1-1- <u>26</u> | [略] | | |
| 1-1- <u>43</u> | [略] | | | 1-1- <u>49</u> | [略] | 1-1- <u>27</u> | [略] | | |
| 1-1- <u>50</u> | [略] | | | 1-1- <u>50</u> | [略] | 1-1- <u>28</u> | [略] | | |
| 1-1- <u>51</u> | [略] | | | 1-1- <u>53</u> | [略] | 1-1- <u>30</u> | [略] | | |
| 1-1- <u>56</u> | [略] | | | | | 1-1- <u>31</u> | [略] | | |
| | | | | | | 1-1- <u>32</u> | [略] | | |
| | | | | | | 1-1- <u>35</u> | [略] | | |
| | | | | | | 1-1- <u>36</u> | [略] | | |
| | | | | | | 1-1- <u>42</u> | [略] | | |
| | | | | | | 1-1- <u>43</u> | [略] | | |
| | | | | | | 1-1- <u>48</u> | [略] | | |
| | | | | | | 1-1- <u>49</u> | [略] | | |
| | | | | | | 1-1- <u>49</u> | ・供用中の 道路にお ける工事 につい て、官公 庁の休日 又は夜間 に作業を | | |

改正前

参考

施設機械工事等共通仕様書における「指示・承諾・協議・提出・報告」の一覧表

| 指示 | | 承諾 | | 協議 | | 提出 | | 報告 | |
|----------------|--------|----------------|--------|----------------|--------|----------------|---|----------------|--------|
| 章-節- 条 | 内 容 | 章-節- 条 | 内 容 | 章-節- 条 | 内 容 | 章-節- 条 | 内 容 | 章-節- 条 | 内 容 |
| 第1章 総則 | | | | | | | | | |
| 1-1-1 | [略] | 1-1-2 | [略] | 1-1- <u>7</u> | [略] | 1-1-3 | [略] | 1-1- <u>25</u> | [略] |
| 1-1-6 | [略] | 1-1-3 | [略] | 1-1- <u>8</u> | [略] | 1-1-4 | [略] | 1-1- <u>36</u> | [略] |
| 1-1- <u>13</u> | [略] | 1-1-6 | [略] | 1-1- <u>20</u> | [略] | 1-1-6 | [略] | 1-1- <u>38</u> | [略] |
| 1-1- <u>18</u> | [略] | 1-1- <u>7</u> | [略] | 1-1- <u>21</u> | [略] | 1-1- <u>7</u> | [略] | 1-1- <u>42</u> | [略] |
| 1-1- <u>19</u> | [略] | 1-1- <u>9</u> | [略] | 1-1- <u>24</u> | [略] | 1-1- <u>10</u> | [略] | 1-1- <u>47</u> | [略] |
| 1-1- <u>22</u> | [略] | 1-1- <u>19</u> | [略] | 1-1- <u>28</u> | [略] | 1-1- <u>16</u> | [略] | 1-1- <u>49</u> | [略] |
| 1-1- <u>23</u> | [略] | 1-1- <u>22</u> | [略] | 1-1- <u>29</u> | [略] | 1-1- <u>18</u> | [略] | 1-1- <u>51</u> | [略] |
| 1-1- <u>25</u> | [略] | 1-1- <u>24</u> | [略] | 1-1- <u>34</u> | [略] | 1-1- <u>19</u> | [略] | 1-1- <u>53</u> | [略] |
| 1-1- <u>30</u> | [略] | 1-1- <u>34</u> | [略] | 1-1- <u>42</u> | [略] | 1-1- <u>20</u> | [略] | 1-1- <u>54</u> | [略] |
| 1-1- <u>31</u> | [略] | 1-1- <u>38</u> | [略] | 1-1- <u>43</u> | [略] | 1-1- <u>22</u> | [略] | 1-1- <u>56</u> | [略] |
| 1-1- <u>34</u> | [略] | 1-1- <u>49</u> | [略] | 1-1- <u>45</u> | [略] | 1-1- <u>23</u> | [略] | | |
| 1-1- <u>40</u> | [略] | 1-1- <u>50</u> | [略] | 1-1- <u>46</u> | [略] | 1-1- <u>24</u> | [略] | | |
| 1-1- <u>41</u> | [略] | | | 1-1- <u>47</u> | [略] | 1-1- <u>25</u> | [略] | | |
| 1-1- <u>42</u> | [略] | | | 1-1- <u>48</u> | [略] | 1-1- <u>26</u> | [略] | | |
| 1-1- <u>49</u> | [略] | | | 1-1- <u>49</u> | [略] | 1-1- <u>27</u> | [略] | | |
| 1-1- <u>50</u> | [略] | | | 1-1- <u>52</u> | [略] | 1-1- <u>29</u> | [略] | | |
| 1-1- <u>55</u> | [略] | | | | | 1-1- <u>30</u> | [略] | | |
| | | | | | | 1-1- <u>31</u> | [略] | | |
| | | | | | | 1-1- <u>34</u> | [略] | | |
| | | | | | | 1-1- <u>35</u> | [略] | | |
| | | | | | | 1-1- <u>41</u> | [略] | | |
| | | | | | | 1-1- <u>42</u> | [略] | | |
| | | | | | | 1-1- <u>47</u> | [略] | | |
| | | | | | | 1-1- <u>48</u> | [略] | | |
| | | | | | | 1-1- <u>48</u> | ・現道上の 工事につ いて、官 公庁の休 日又は夜 間に作業 を行う場 合の理由 | | |

改正後

改正前

第12章 電気設備

第12章 電気設備

| | | | | | | | | | |
|-----|-----|--------|---|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| [略] | [略] | 12-1-2 | [略] | [略] | [略] | [略] | [略] | [略] | [略] |
| | | 12-1-2 | <ul style="list-style-type: none"> ・接地・絶縁抵抗・絶縁耐力が電気設備技術基準により難しい場合 ・監視操作制御設備等の各盤の配線及び構造等について <u>JIS</u>、JEM 等の該当する規格により難しい場合 ・監視操作制御設備等の電線の種類及び電線被覆の色別について <u>JIS</u>、JEM 等の該当する規格により難しい場合 ・監視操作制御設備等の盤名称板について <u>JIS</u>、JEM 等の | | | | | | |

| | | | | | | | | | |
|-----|-----|--------|--|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| [略] | [略] | 12-1-2 | [略] | [略] | [略] | [略] | [略] | [略] | [略] |
| | | 12-1-2 | <ul style="list-style-type: none"> ・接地・絶縁抵抗・絶縁耐力が電気設備技術基準により難しい場合 ・監視操作制御設備等の各盤の配線及び構造等について JEM 等の該当する規格により難しい場合 ・監視操作制御設備等の電線の種類及び電線被覆の色別について JEM 等の該当する規格により難しい場合 ・監視操作制御設備等の盤名称板について JEM 等の該当 | | | | | | |

